

難 聴

事業所名

福岡市立心身障がい福祉センター ありんこ園

支援プログラム

作成日

R8年

2月

28日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用のお客様の信頼と安心を第一にします。 ・障がいのある方々のくらしをお手伝いします。 ・やる気と工夫で福祉の仕事を広げます。 								
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・難聴のある乳幼児を対象に、親子通園をとおして早期から適切な療育を行うことにより、心身やことばの円満な発達を促せるよう支援します。 ・保護者やお子さんの養育に関わる方々がきこえの障がいについて理解し、コミュニケーションをスムーズにとれるようお手伝いします。 ・専門機関として地域や関係機関に障がい理解のための啓発活動を行います。 				<p style="text-align: center;">5領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性 				
営業時間		8時	45分	から	17時		15分	まで	送迎実施の有無	(あり) なし
支 援 内 容										
本人支援	0歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムを整える(①②) ・親子共感関係の基礎を築く(③④⑤) ・聴覚活用の基礎をつくる(③④) 								
	1歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・生活のリズムを整える(①②) ・親子共感関係の基礎を育てる(③④⑤) ・聴覚学習を進める(③④) ・日常生活を意識化し、考える力を育てる(③④) 								
	2歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・身辺自立を促し、生活習慣を確実なものにしていく(①②) ・身近な人とのコミュニケーションを可能にする(④⑤) ・聴覚学習を進める(③④) ・日常生活を意識化し、考える力を育てる(③④) 								
	3歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚を活用し、口話によるコミュニケーションが成立する(④⑤) ・文字への関心をもつ(③④) ・視覚的な手がかりを使ってことばによる思考ができる(③④) ・補聴器の初歩的な装着ができる(①②) 								
	4歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の理解、表現が広がり、口話によるコミュニケーション活動が発展する(④⑤) ・文字の読み書きを楽しむ(③④) ・知識欲が増し学習が意欲的になる(③④) ・想像や空想をすることができる(③④) ・補聴器の扱い方を理解する(①②) 								
	5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中でまとまった話をきき理解することができる(④⑤) ・相手にわかるように工夫して伝えることができる(④⑤) ・わからないことを大人と一緒に調べようとする(③④) ・ことばでことばを学習することができる(③④) ・補聴器の管理が自分でできる(①②) ・相手の気持ちがわかり自ら行動を調整する(④⑤) 								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・療育場面や個別面談、学習会を通じて難聴に関する情報提供を行い、お子さんとの関わり方について等、具体的に支援内容をお伝えします。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・卒、転園先の進路先へ引き継ぎを行い、新しい環境でも安心して過ごせるようにします。 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・難聴講座や園訪問等を通じて幼稚園や保育園との連携を深め、地域での難聴児への支援力向上に努めます。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修を計画的に行います。 ・定期的にカンファレンスを実施し、療育の質の向上に努めます。 		
主な行事等		家族参観（集団療育参加者のみ、年1～2回）、卒園児同窓会（年1回程度）、成人聴覚障がい者講話（8月）ありん交流会（11月）、家庭訪問（1歳児(集団)7月）、クリスマス会（集団療育参加者のみ、12月）、お別れ会（3月）								